

市会

安心して笑顔でくらせるまちを



日本共産党

党南区子育て・女性委員長／元舞台女優

森田 ゆみ子 もりた



プロフィール

1968年5月28日大阪此花区生まれ。高校卒業後、演劇研究所で学び、劇団京芸で女優を務める。子育てと家事のかたわら、町内会役員や吉祥院小学校PTA役員など地域の願い実現の活動、体操ボランティアなどにとりくむ。元新日本婦人の会南支部常任委員。家族は夫、小学生の息子2人、黒ネコじゅうべえ。趣味は山菜採り、編み物、少林寺拳法、パレーボール、手作り人形劇、おもちゃ作り、クロスワードパズル。

ねがいとどく
南区

こどもには笑顔
若者には仕事
老後には安心を。



日々、切実な声が寄せられています。
実現へ、全力でがんばります。

消費税／営業

- 消費税が8%になって客足が遠のいているのに、10%になったら廃業を考えなければならない。
- 年金が下がったのに消費税増税でおかずを減らした。

医療／介護

- 健康保険・介護保険料高すぎ、高齢者の医療費助成制度削らないで。
- 高い保険料を払っているが生活にゆとりがなく、なるべく医者にはいかない。

雇用／労働

- 労働基準法を守らない会社をどうにかしてほしい。

子育て／教育

- 中学校でも小学校の時のような温かくておいしい給食を食べさせたい。
- 少人数学級の実現を。
- 保育制度改悪反対。
- 高校入試制度を改めてほしい。希望者は全員高校へ進学できるような制度に。

まちづくり／交通

- 市バスがとにかく不便。
- 敬老乗車証は今のままで存続を。
- 必要な横断歩道の設置を。
- 道がデコボコで、自転車で買い物に行くとカゴに入れた卵が割れてしまう。
- 家の近くにお店がないので不便。
- 街灯が暗い少ない。
- 西大路駅にエレベーターの設置を早くしてほしい。
- リニア新幹線はいらない。無駄遣い、環境破壊では？

小学生の子どもをもつ親として、
子育てしやすい南区へ

- 子どもの医療費を入院・通院とも早急に中学校卒業まで完全無料に。
- 中学校でもすべての生徒を対象にした温かい学校給食の実施を。



みなさんと力を合わせ住みやすいまちを

- 西大路駅バリアフリー化をJR西日本や京都市に繰り返し申し入れてきました。JRはこのたび2015年度からエレベーター設置に向けた準備を進めることを決定しました。
- 生活道路に大型車が進入している問題(上鳥羽)を南警察署に申し入れ、「進入警告」の看板設置が実現しました。
- 久世橋西の国道171号線にある高架陸橋は高齢者や障害者の方には渡りづらく、たくさんの方が信号の合間に国道を渡ってたいへん危険です。横断歩道の設置を南警察署や国土交通省京都事務所に申し入れています。引き続きがんばります。



「アルマイト食器やめて」
保護者の要望が一步前進

スープなどを入れたら熱くて持てないアルマイト食器が、この4月から3年かけて樹脂製のPEN(ポリエチレンナフタレート)食器に変わります。新日本婦人の会など長年の市民運動と日本共産党の議会論戦が市政を動かしました。「子どもがふちをつまんで食べてしまうので改善を」と森田ゆみ子も訴えてきました。

